



<本校の授業改善に向けた視点>

<p>指導内容・指導方法の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○分かる授業、学びが楽しい授業の実践。 ○授業時数の確実な確保、指導計画、評価規準、週案に沿った計画的な授業。 ○算数の習熟度別指導をはじめ、個に応じた指導の充実。 ○地域教材、ボランティアの積極的な活用。 ○特別支援教育の視点にたった学習環境の整備。 	<p>教育課程編成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業時数の大幅な確保によるゆとりある編成。 ○十二小タイムや朝学タイムを活用した算数科をはじめとする基礎・基本の徹底。 ○読書マラソンによる読書の習慣化。 ○幼稚園、玉川上水等地域の教材化を図り、生きる力を培う。 	<p>校内における研究や研修の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自己申告、職務面接、授業参観による授業改善の推進。 ○校内研究で研究授業を行い、指導の改善に努める。 ○初任者研修、2・3・4年次研修、小平市教科等研究会への積極的な参加。 ○研修報告会を実施し、全教員が報告し合い、情報を共有する。 	<p>評価活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○PDCAサイクルによる指導と評価の一体化の考えのもと、指導のねらいの達成と学習内容の定着強化。 ○年間指導計画に基づいた評価規準の作成。 ○保護者・地域の声を取り入れた学校評価の実施。 ○評価委員会を中心とした学校の評価規準に関する共通理解。 	<p>家庭や地域社会との連携の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校公開日を中心に活動を積極的に公開し、児童の成長や教師の指導を発信し、家庭地域の協力・連携を強化。 ○地域人材の学習への参加、サポート活動。 ○年度初めの保護者会で学校説明会を実施。 ○学校経営協力者の参加。 ○十二小家庭学習強化週間の推進。
---	---	---	---	--